

秋自協第29号の2  
令和元年12月13日

新潟市長 中原 八一 様

秋葉区自治協会  
会長 金子 洋二

秋葉区の特色のある区づくり予算に係る事業の企画立案について（回答）

令和元年11月29日付け新秋地総第1215号にて意見聴取のあった標記のことについて、秋葉区特色ある区づくり予算の執行については、掲げた成果目標が達成されると共に、下記のことには留意し、未来志向で人が育つ事業となることを望みます。

#### 記

#### 1 すきまのない福祉のまちづくり

少子高齢化が喫緊の課題となる中、誰もが「支えられる側」になる可能性があり、住民同士が共に地域で暮らす仲間であるという意識を共有することが肝要です。

ひとり暮らしの高齢者や障がい者、経済的に恵まれない環境下の子どもたちなど、多様な社会的弱者の存在に心を配ると共に、「支える人」のケアにも留意し、秋葉区が誰ひとり取り残さない福祉のまちとなるよう施策が活かされることを望みます。

#### 2 地域資源が相互に活かされるまちづくり

秋葉区の宝である里山、花、石油、鉄道、祭りなどの地域資源を活かした施策においては、相互に連携を図り、対象者へのアプローチなど戦略性を持って事業に臨むことを希望します。

また、施策を通して次世代の育成を図るべく、小・中・高生や新潟薬科大生のキャリア教育とも関連づけることが有効と考えます。さらには、まちあるきや郷土史勉強会などを通じた認知症の予防など、地域資源活用の幅を広げていく取り組みにも期待します。

#### 3 メインとなる施策の明確化

バリエーション豊かに施策が掲げられている半面、区としての特色がやや曖昧になっている印象を受けます。

来年度に向けては、強い発信力を持ったメインとなる施策を定め、そこへとつながる施策体系が示されることを望みます。